

氏名	中川 晃志
授与した学位	博士
専攻分野の名称	医学
学位授与番号	博甲第 4403 号
学位授与の日付	平成23年9月30日
学位授与の要件	医歯薬学総合研究科生体制御科学専攻 (学位規則第4条第1項該当)

学位論文題目	Use of Intravenous Amiodarone in the Treatment of Nifekalant-Resistant Arrhythmia : A Review of 11 Consecutive Cases with Severe Heart Failure (ニフェカラント抵抗性不整脈に対する静注アミオダロン投与について—重症心不全患者連続11例での検討—)
--------	---

論文審査委員	教授 佐野 俊二 教授 成瀬 恵治 准教授 五藤 恵次
--------	-----------------------------

#### 学位論文内容の要旨

選択的  $I_{Kr}$  遮断薬である塩酸ニフェカラントおよび複数のイオンチャネル遮断作用を有する塩酸アミオダロンはともに難治性不整脈に対する有効性が報告されているが、重症心不全患者の難治性不整脈に対するこれら薬剤の適正な使用は確立されていない。我々はニフェカラント抵抗性不整脈に対してアミオダロン静注薬が投与された重症心不全患者 11 名において、アミオダロンの効果(心室細動、心室頻拍または心房細動の停止および抑制効果)について後ろ向きに検討を行った。対象は全て救急症例で、平均左室駆出率は 30%と低下していた。ニフェカラント抵抗性不整脈に対しアミオダロン静注薬は 10 名中 8 名(80%)において心室細動または心室頻拍の停止および抑制効果を示した。心房細動については、5 名中 4 名(80%)で停止効果が、3 名(60%)で抑制効果が得られた。アミオダロンによる有意な副作用や催不整脈作用は認められなかった。重症心不全患者を呈したニフェカラント抵抗性不整脈に対してアミオダロン静注薬は有効かつ安全に使用可能であった。

#### 論文審査結果の要旨

本研究は、救急搬送された 11 例のニフェカラント抵抗性難治性不整脈を伴った重症心不全患者に対するアミオダロンの効果につき検討した論文である。

ニフェカラント抵抗性不整脈に対し、アミオダロン静注薬は 10 例中 8 例 (80%) において心室細動または心室頻拍の停止および抑制効果を示した。このような症例に対するアミオダロン静注薬の有効性、安全性を証明した貴重な論文であり、価値ある業績と認める。

よって、本研究者は博士 (医学) の学位を得る資格があると認める。